

中学校の英語科の先生方へ



今年の高校入試の分析からこんなことがわかりました！

合格者の英語の平均点は、51.5点

☆正答率(※)が高かったのは、対話文読解に関する問題です。対話を読んで意味内容を正しく理解し、大切な部分を正確に読み取る力や、適切に対話を構成する力については、定着が図られています！



特徴的な問題を見てみましょう！

5

7 次の絵は、晴樹が最後のサッカーの試合後に山本さん (Mr. Yamamoto) と話している場面です。会話が成り立つように、() に入る英文を書きなさい。英文はいくつでもかまいませんが、全体で9語以上になるように書きなさい。ただし、符号(.,!/? など)は語の数に入れないものとします。

〈標準解答〉

(例)

I want to clean the park near my house

Haruki

Mr. Yamamoto

〈ねらい〉

この問題は、英文を読んで内容を理解し、その内容に対する自分の考えを、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるかを問う問題でした。

〈分析〉

正答率は18.5%でした。課題としては、会話の流れに応じて、自分も持っている知識を活用し、考えたことや気持ちを表現する力が身に付いていないことなどが考えられます。

〈提案〉

英語を読んで理解した内容に対して、自分の考えや気持ちを表現する言語活動が必要です。また、単元ごとの学習内容を組み合わせて、クラスメイトと意見を述べ合うような発展的な言語活動を行うなどの工夫も必要です。



「分かる！・できる！」まで教えよう！(授業改善のkeyword)
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者4,417人の中から、無作為に抽出した630人(14.3%)分のデータです。